

# 人家に集まるカメムシ

くさい臭いにおの嫌われ者



マルカメムシ (体長約5mm)



クズに発生したマルカメムシ



クサギカメムシ (体長約1.5cm)



集団で越冬するカメムシ (オオトビサシガメ)

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
発生												
多い												

発生  多い

カメムシのなかには、都会で大量に発生して「不快害虫」となるものや、晩秋、人家周辺に集まって嫌がられる種類があります。山間地では、集団で越冬する性質をもつ種類が、屋根裏などにたくさん侵入することがあります。

衛生上の害はありませんが、独特の悪臭があるため嫌われます。

## 生態

《マルカメムシ》小型で丸みをおび、光沢のある黄褐色をしています。クズなどマメ科植物に発生します。クズが生えやすい都会の河川敷、線路際、丘陵を開発した住宅地などで大量に発生し、人家や洗濯物に集まったりします。

《クサギカメムシ》いろいろな植物に発生し、自然の豊かな地域に多く見られます。山間地では晩秋の頃、洗濯物に集まったり、越冬のため人家に飛来したりします。

## 防除

マルカメムシは食草のクズを刈り取らない限り、発生は防止できません。クサギカメムシは発生源が特定できず、また、遠くからも飛来するので、発生源対策は困難です。網戸の取り付けなど家屋への侵入防止対策が主になります。

問い合わせ先